



お
麻

み
績

心温まる灯

おみの星空キャンドルまつり



人口 2,753人(男 1,316人 女 1,437人) 世帯数 1,128戸(H31.1.1現在)

広 報
No.141

2~12

議会だより
No.131

13~19

村のホームページアドレス



麻績 広報

No.141

発行 麻績村
編集 村づくり推進課
〒399-7701
長野県東筑摩郡麻績村麻3837番地
電話0263-67-3001
FAX0263-67-3094

☆年頭のご挨拶	2
☆麻績日記	4
☆各課からのお知らせ	5
☆健康と福祉のひろば	9
☆防災コラム	10
☆関係機関からのお知らせ	11

高野村政三期目が始動

年頭のご挨拶

麻績村長 高野 忠房



新年明けましておめでとうございます。

昨年は皆様の温かいご支援を賜り、三期目の村政をスタートすることができました。初心を忘れず、麻績村の発展のため全力で取り組む覚悟です。変わらぬご

支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、アメリカ・中国・欧州での「自国利益優先主義」の鮮明化、中国の海洋進出などによる東アジアの緊張の高まり、日韓関係の冷え込みなど、世界の流れに不安を抱かせるニュースが目立ちました。

国内では、一〜二月の大雪、草津白根山と新燃岳の噴火、夏の猛暑、日本列島

を縦断した台風二十一号、そして北海道での震度七の大地震など大きな自然災害が全国各地で発生しました。長野県内では、きのこ豊作の一方で滑落や食中毒事故が多発、干ばつ・豪雨による農作物被害など昨年に続き明るさを欠く出来事が目立った思いが致します。

そして、麻績村では猛暑による農作物への影響やリングの薬剤耐性菌の発生はあったものの、大きな自然災害も無く、総じて平穏な年でありました。

また、麻績村では明るいニュースがありました。松本消防協会主催のポンプ操法・ラッパ吹奏大会で、



▲全部門で上位入賞した麻績村消防団

麻績村消防団が「ポンプ車操法の部」と「ラッパ吹奏の部」で強豪松本・塩尻・安曇野の三市を抑え優勝、そして残る「小型ポンプ操法の部」でも第三位入賞という歴史的快挙を成し遂げました。

また、第七十三回国民体育大会冬季大会において麻績村の清水大選手が優勝しました。

こうした明るいニュースと共に、麻績村では新たな時代へ向けての村づくりが前進した年でもありました。ここで、主要事業の現状と新年度へ向けての方針等について申し上げます。

先ず、若者定住施策の推進について申し上げます。

住宅整備、子育て支援、教育など、各種事業の充実により、目に見える結果が出て参りました。小学校入学児童が五名となるなど少子化が進みましたが、新年度からは二十名近い児童が入学するようになりました。未就園児と親たちが集う「ひだまり広場」の充実によ

り、ご利用者数は昨年度の二倍以上に伸びております。東筑摩郡北部三村の小學校を対象にしたLD等通級教室が麻績小学校に開設され、支援教育が一段と充実致しました。



▲元気いっぱいの保育園児

夏の猛暑対策・教室等へのクーラー設置については、今年の夏に向けて既に着手しております。筑北地域での学校統合問題については、長い間両村で協議して参りましたが不調に終わりました。少子化が加速する中で、筑北地域においては村を越えての学校統合が必要との思いは今でも変わっておりません。早期に理想の教育環境が

生まれることを願うと共に、当面は麻績村として小中学校の教育水準の向上と、一人ひとりを大切にされた教育を進めて参ります。

また、若者の定住から永住へ向けて、新たに日向地区での住宅整備計画も具体化しており、新年度着工を目指しております。

次に、地域農業の活性化について申し上げます。



▲「おみごと」の農業体験ツアー受入

麻績村の農業の一番の課題は後継者不足、後継者がいないということ。このことは全国の農村が抱える課題です。麻績村では、村内で頑張っておられる農業者への支援と共に、新たにNPO

法人「おみごと」による農業後継者の育成と農地荒廃化の抑制に努めております。

この法人では、現在五名の研修生が自立に向けて技能習得に励んでおり、近い将来地域農業を担う人材になってくれるものと期待しております。

次に、都市部からの移住促進について申し上げます。村内の空き家紹介や地域おこし協力隊採用など都市部からの移住者受け入れを積極的に進めておりますが、

今後は更に国の新たな移住促進施策を活用してUIJターン者を増やす考えです。そのためにも、日向地区での永住へ向けての新たな住宅事業、テレワーク拠点の活用など着実に進めて参ります。次に、安心・安全の村づくりについて申し上げます。

発生確率が高まっている巨大地震や豪雨など自然災害と大規模火災は、いつ発生しても不思議ではありません。緊急時に備えて村内主要道路で大型車両が通行でき

るよう道路改良事業を、また土石流災害に備えての砂防堰堤の構築事業を、更にはため池の防災対策など関係機関と調整しつつ進めております。

また、大規模災害発生時に地域における第一避難所となり得るよう、地区の主要公民館の耐震調査に着手致しました。今後は関係地域の皆様と協議し、事業が着実に進展するよう努めて参ります。

次に、もう一つの安心・安全について申し上げます。予期せぬ病の発症、大怪我等に対処できる緊急医療体制の整備、人生最後まで健康に暮らせるように保健事業の充実、安心してご利用いただける介護サービスの充実など進めております。今後、健康長寿の村を目指し新たなニーズにもお応えできるよう努めて参ります。

次に、観光面について申し上げます。長年の懸案でありました聖湖畔の大型廃屋の解体が昨年末にはほぼ終了しました。

跡地の整備につきましては、聖高原に相応しい場所となるよう検討を進めております。



▲聖湖畔に建つ大型廃屋の解体撤去

時代の流れと共に観光ニーズは大きく変化しております。自然志向、スポーツ志向など、新たなニーズにも対処して参ります。

このほかにも、商工業振興対策、筑北村との連携による事務事業の効率化、貴重な歴史遺産・文化の保全と活用、美しい景観保全など、これらにも対処して参ります。

麻績村の人口は、昨年十二月一日に二、七五四人と一昨年同期より五十七名減少し、また六十五歳以上の高

齢者数は一、九四人、高齢化率は四十三・三六%となりました。

今後人口が二、五〇〇人を割り込むのも遠くない将来と思われま。

今後、地方は過疎化・少子高齢化が更に進み、地域課題は深刻化することが予測されますが、一方では明るさもあります。

都市部には農業志望の若者が増えておりますし、「田園回帰」の動きも現れております。そして、国もこうした流れを支援する新たな施策が始まります。

今まさに地方創生の時代です。

今の厳しい時こそがチャンスと捉え、麻績村が更に躍進し希望に満ちた輝かしい村となりますよう全力で村政運営にあたって参ります。なお一層のご理解・ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

村民皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

麻績日記

消防団の秋季訓練 消火活動技術の向上へ



▲筒先の取扱を学ぶ消防団員

麻績村消防団の秋季訓練が十一月十一日に行われました。

現在、団員の人数が減少し、特に平日の昼間に、消火活動に必要な団員が集まるのが難しい状況です。そのため、全団員が消火活動を円滑に行えるよう、麻績消防署、民間業者による指導を受けました。

各分団ごとに分かれ、ポンプ、ホースの取扱訓練を行い、有事に備え、操作方法等を確認しました。

クリスマス手作り音楽会

山ぼうし作業場のクリスマス手づくり音楽会が十二月八日に地域交流センターで開催されました。

今回は、愈の会と筑北尺八同好会による箏と尺八のコラボ演奏や、松本市出身で武蔵野音楽大学を卒業された大月裕夫さんの心に響くピアノ演奏が披露されました。また、童謡を歌う会や麻績コーラスの皆さんの素晴らしい歌声に合わせ、来場者も歌を口ずさみながら、手づくりの音楽会を楽しみました。



▲大月裕夫さんのピアノ演奏に聞き入る来場者

元旦祝賀式

元旦祝賀式が一月一日に開催され、関係者約八十名が出席、新たな一年の訪れを祝いました。



▲新年の抱負を語る高野村長

消防団出初式

麻績村消防団の出初式が一月五日に開催されました。消防団員六十二名がラッパ吹奏にあわせた堂々たる分列行進を行い、保育園児による「ちびっこ消防団」も元気な行進を見せてくれました。



▲聖高原駅を出発した分列行進

その後、地域交流センターで村内外の来賓臨席のもと式典が行われ、新年の防災への誓いを新たにしました。

おみの星空キャンドルまつり

「おみの星空キャンドルまつり」が一月十九日にシェーンガルテンおみ庭園で開催されました。今年は「夢」をテーマに、保育園児や小学生の夢や願いが書かれた



▲一面に広がるアイスキャンドルの灯

絵プレートとともに、約千個のアイスキャンドルに火が灯され幻想的な世界が広がりました。また、花火も打ち上げられ、花火とキャンドルの美しい光を眺める大勢の来場者の姿が見られました。

NPO法人 おみごとの活動

物産展イベントに参加

村の地域おこし協力隊が、十月二十日、二十一日に東京都台東区、十一月十七日に東京都荒川区で開催された物産展イベントに参加しました。

物産展では、自分たちが栽培・製作したりんごや工芸品を出品し、商品の説明から販売までを経験しました。当日は、「おやきの会」や「あさつゆ」の皆さんにも同行いただき、販売に関する指導を受け、効果的なPRの仕方を学ぶことができました。物産展は天候にも恵まれ、多くの商品を販売することができました。特に十一月の



▲商品の良さを伝える隊員

物産展では、終了時間前に持参した商品が完売し、改めて麻績村の商品が魅力的なものであることが実感できました。

農業体験ツアー

NPO法人おみごとでは、十一月十日、十一日に都市圏から参加者を募り、りんごの収穫やおやき作りなどを体験する「農業体験ツアー」を開催しました。



▲りんご畑で記念撮影

参加者は、思い思いにりんごを収穫してその場で試し、蜜の入った聖高原りんごのおいしさに驚いていました。また、おやきづくりでは、おやきの会の指導

で、丁寧な三種のおやきを作り、味の違いを楽しんでいました。



▲丁寧に具を包む参加者

ツアーの最後には、日向地区で開催された「新そば賞味会」にも参加し、参加者は地元名人による打ちたての新そばに舌鼓を打っていました。

参加者からは、お礼の手紙や村へのふるさと納税が寄せられるなど村の魅力を村外に発信する良い機会となりました。

保育園児のりんご狩り

村の特産品であるりんごに親しみをもってもらうため、十一月十九日、麻績保

育園児がNPO法人おみごととのりんご畑で、りんご狩りを行いました。

園児自らの手で、木に実ったりんごを収穫する初めての体験に心を躍らせ、満面の笑みを浮かべていました。



▲りんご狩りを楽しむ園児

また、NPO法人おみごとで収穫したりんごは、小学校、中学校にもお届けし、地域内の農業、りんごの魅力を伝えました。



▲収穫したりんごを試食

各課からのお知らせ

信州大学医学部・麻績村地域連携記念講演会開催

昨年三月に締結した信州大学医学部との地域連携協定による記念講演会を開催します。

皆さんお気軽にご参加ください。

◇日時

平成三十二年 月二十三日(土)

午後二時から

◇場所

麻績村地域交流センター

◇講師

信州大学 医学部長

田中 榮司氏

◇演題

健康診断で肝機能障害と言われたら

天然記念物の指定取消

「鍋山の千本松」

野口地区の南方・筑北村との村境近く標高九八〇mほどの北東斜面にあった「鍋

山の千本松」が枯れたため、村の天然記念物の指定が取り消しとなりました。

鍋山の千本松は、その名のとおり根元から何本もの太枝が枝分かれし伸びており、昭和六十年二月に村の天然記念物に指定されました。



▲松枯れした「鍋山の千本松」

村内の千本松については、平成二十七年四月にも野間地区にあった「野間の千本松」が同じく指定の取り消しとなっており、村内に残る天然記念物は「神明宮の大杉」のみとなりました。

おみ光のページェント

シエーンガルテンおみでは、十二月から二月下旬まで冬の風物詩「おみ光のページェント」が開催されています。

点灯時間は午後五時から十時の間で、約十七万球のイルミネーションが、皆さんのお越しをお待ちしています。



▲ご来場お待ちしております

点灯期間中は、フォトコンテストの写真募集や星空観賞会も開催しています。日程は次のとおりです。

◇フォトコンテスト

写真募集期間

平成三十一年一月十五日(火)から
二月二十八日(木)まで

◇星空観賞会開催日

平成三十一年二月二十三日(土)
午後七時三十分から

◇会場

シエーンガルテンおみ

◇お問い合わせ先

聖高原観光案内センター

☎〇二六三三六七一・二二三三

聖高原スキー場からお知らせ

聖高原スキー場は、暖冬による雪不足が心配されましたが、昨年末から滑走可能となり、休日には大勢の来場者で賑わっています。今シーズンの催し日程は次のとおりです。

◇聖高原ジュニアジャイアントスラローム大会

前日クリニック

平成三十一年二月二日(土)

◇Mt.石井スポーツカップ

第二十二回ジュニアジャイアントスラローム大会

平成三十一年二月三日(日)

◇第二十二回聖高原

スノーフェスティバル

◇お申し込み・お問い合わせ先

平成三十一年二月二十四日(日)

☎〇二六三三六七一・二二三三

聖高原観光案内センター
☎〇二六三三六七一・二二三三



▲昨年のスノーフェスティバル(ソリレース)

ブロック塀等の安全対策を!

あなたのお家のブロック塀は安全ですか?

村では、地震によるブロック塀等の倒壊及び転倒による災害防止並びに災害に強い村づくりの推進を図るため、「ブロック塀等防災対策促進事業補助金要綱」を定めました。

道路沿いのブロック塀等の撤去や改修を行う場合に、一定の条件のもと補助金を交付する事業です。

交付要件など、詳しくは役場振興課へお問い合わせください。

聖高原駅前の村営駐車場が一日単位で利用していただけるようになります!

駐車場は現在、主に通勤、通学する方のためとして「月極め」で利用されていますが、その一方で、松本・長野方面への買い物や通院、短期間の旅行や出張など、「一時的」に使える駐車場の要望が寄せられています。

これを受け、村では五月から、すでにある村営駐車場敷地内に一日単位で利用できる駐車区画を試験的に用意します。

実際に利用いただく場合は手続きや料金などについては次号以降の広報紙等で随時お知らせしていきます。ご意見等ありましたらお気軽に担当までお伝えください。

◇担当
総務課 交通政策係

平成三十年中所得の申告受付について

◇期間

平成三十一年二月十八日(月)から
三月十五日(金)まで
(土、日曜日は除きます。)

◇時間

午前九時から午後四時まで
※平日に都合のつかない方は、次の休日受付をご利用ください。

・平成三十一年二月二十四日(日)
午前九時から午後四時まで
・平成三十一年三月十日(日)
午前九時から午後四時まで

◇会場

麻績村役場 二階
第四会議室

◇担当

総務課 税務係

期間中は大変混み合いますので、お時間に余裕をもってお出かけください。また、一人でも多くの方が利用いただけるよう、事前に書類を整理しておくなど、ご協力をお願いします。

保小中一貫教育に向けて ～連携事業進む～

一貫教育を進めるために教育方針研究検討委員会で検討された事業や取り組みが実施されています。

①学力向上に向けたリーフレット『学習の手引き』

心豊かでたくましい子どもを育てていくためには、学力の向上が大切になります。

授業の充実・授業における共通ルール・家庭学習の3つを柱とした学習の手引きを作成し、小中学校の全家庭に配布し、学校・家庭との連携を図りました。

②小中学生が読書で交流

今まで中学校で実施していた、自分のお勧めの本を紹介しあい、読みたい本を参加者同士で選ぶ「ビブリオバトル」を、今年度は小学校6年生も参加して行いました。

先輩に囲まれて緊張気味の6年生も本の魅力を精一杯伝えていました。

③小学校への出前英語教室

新しい教育の方針により必修となる小学生の英語教育ですが、先月、中学校の英語教諭が小学校に出向き、授業を行いました。今後もさらに充実していく予定です。

麻績村職員の給与等の状況

◆人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (H30.1.1)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 (B/A)
29年度	2,820人	2,806,897千円	73,184千円	395,002千円	14.07%

◆職員の平均給料月額及び平均年齢の状況

区分	一般行政職		区分	一般行政職	
	平均給料月額	平均年齢		平均給料月額	平均年齢
麻績村職員	302,000円	41.9歳	長野県職員	338,000円	45.3歳

*平成30年4月1日現在

*公表が遅れているため、平成29年4月1日現在の数字です

◆一般職の給与費の状況（平成30年度当初予算）

区分	職員数(人) (A)	給与額(千円)			1人当たり給与費 (B/A)
		給料	手当	計(B)	
麻績村職員	45	163,686	97,727	261,413	5,809

◆特別職の報酬の状況（平成30年4月1日現在）

区分	麻績村給料月額	区分	報酬月額
村長	668,000円	議長	275,000円
副村長	555,000円	副議長	206,000円
教育長	505,000円	常任委員長	188,000円
		議員	186,000円

*期末手当支給割合（平成30年度）

・支給月数：6月期1.575月、12月期1.725月 計3.30月
・支給基礎額：報酬額を1.4倍

◆職員手当の状況（平成30年度支給割合）

区分	6月	12月	計	
麻績村	期末手当	1.225月分	1.375月分	2.60月分
	勤勉手当	0.90月分	0.95月分	1.85月分
国	期末手当	1.225月分	1.375月分	2.60月分
	勤勉手当	0.90月分	0.95月分	1.85月分
長野県	期末手当	1.225月分	1.375月分	2.60月分
	勤勉手当	0.90月分	0.95月分	1.85月分

◆ラスバイレス指数の状況

区分	麻績村	長野県	長野県町村平均
平成27年度	94.9	98.1	94.8
平成28年度	94.2	99.4	95.2
平成29年度	94.3	99.9	95.2

*ラスバイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数（国の地域手当を含まない比較）



◆行政職の級別職員数の状況（平成30年4月1日現在）

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
標準的な職務内容	主事補及び主事	主事	主任	係長	課長	課長	
職員人数	5	8	5	7	6	2	33
構成比(%)	15.2	24.2	15.2	21.1	18.2	6.0	100.0

◆行政職以外の級別職員数の状況（平成30年4月1日現在）

区分	1級	2級	3級	合計
職員人数	0	0	2	2
構成比(%)	0.0	0.0	100.0	100.0

◆部門別職員数の状況（平成30年4月1日現在）

区分	一般行政部門								特別行政部門	公営企業など			計
	議会	総務	税務	民生	衛生	農水	商工	土木	教育	水道	下水道	その他	
平成29年度	1	14	3	4	4	4	3	3	5	1	1	4	47
平成30年度	1	14	3	5	4	4	2	3	4	1	1	4	46
対前年増減	0	0	0	1	0	0	-1	0	-1	0	0	0	-1

*教育長含まない。

全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします

平成30年度に実施された「全国学力・学習状況調査」の麻績小学校(6年生)と筑北中学校(3年生)の結果をお知らせします。

麻績小学校

教科	結果	特筆すべき事項	今後の方針
国語	「知識」「活用する力」ともに全国平均をわずかに下回る。	「漢字の読み」「慣用句の理解」については定着している。	「読み取って書く」につまづきやすい子がいるので、読書感想文などにより、書く経験を積んでいく。
算数	「知識」「活用する力」ともに全国平均を下回る。	「数と計算」「数量や図形」にかかわる力については定着している。	基礎基本の定着を大切にし、文意を丁寧に読み取る経験を積むことで活用力をさらに伸ばしていく。
理科	「知識」「活用する力」ともに全国平均をわずかに下回る。	「理科」の勉強が好きな子が多い。自然科学についての理解が定着している。	操作・実験に対する関心が高いため、実験結果等の整理や考察を丁寧に扱っていく。

《学習状況調査》

- ・自分にはよいところがあると考える児童、将来の夢や目標を持っている児童が多い。
- ・「きまりを守る」「いじめを許さない」「人の役に立ちたい」など規範意識が高い。
- ・帰宅後に時間をかけて読書できる子が多い。自ら計画的に家庭学習に取り組むことができるようになることが課題である。一貫教育を進めるうえで、小中学校が連携して取り組み、学力向上につなげるために作成した「学習の手引き」(リーフレット)を活用して具体的に学力の基礎づくりに取り組むことが大切と思われる。
- ・「友だちと話し合う」、「自分の考えを発表する」などに困難を感じる児童がやや多い。

筑北中学校

教科	結果	特筆すべき事項	今後の方針
国語	「知識」「活用する力」ともにおおそ全国平均。	「読むこと」については基礎基本がおおむね定着している。	「話すこと」「聞くこと」や伝える力をつけるために交流型学習を充実させ力を伸ばしていく。
数学	「知識」は全国平均以下、「活用する力」はおおそ全国平均。	「図形」については思考力・判断力・表現力が十分定着している。	「見とどけ」の時間を確保し、定着を図るための活用問題を取り入れるなどして力を伸ばしていく。
理科	「知識」「活用する力」ともにおおそ全国平均。	「物理的領域」について基礎基本が十分定着している。	自然事象を身近な生活と結びつけることで興味関心を持たせ、基礎基本の定着を図る。

《学習状況調査》

- ・決まった時間に起床、就寝している生徒の割合が高い。
- ・自分で計画を立てて勉強している生徒が多い。特に学習時間が極端に短い生徒が少ない。
- ・人の役に立つ人間になりたいと願う生徒がほとんどである。
- ・話し合う活動で自分の考えを深めたり、広げたりすることができている生徒が比較的多い。
- ・全体的に読書時間が短い生徒の割合が高いことが課題である。

◆算数・数学の図形については小中学校ともに昨年同様理解する力が定着しています。

学習状況調査においては、自らを肯定的にとらえ、夢や目標を持っている児童生徒が多くなっています。

小学校で読書に時間をかけているものの、中学校では読書時間が短い生徒が多いのは課題です。学習する習慣を身につけ、学校での学習の定着のためには家庭学習による学力の基礎づくりが重要です。そのために、「学習の手引き」(リーフレット)を通じ、村・学校・家庭が連携し、協力しあっています。

健康と福祉の ひろば

全国的に流行 風しんに注意!

妊娠初期に妊婦さんが風しんに感染すると、生まれてくる赤ちゃんが先天性風しん症候群を発症する恐れがあります。

妊婦さんは予防接種を受けることができません。妊娠を希望する女性と、その周囲の人が風しんの予防接種をすることが大切です。抗体検査による抗体価の確認や予防接種による感染防止に努めましょう。

保健所では抗体検査を無料で行っています。松本保健福祉事務所

☎〇二六三二四七七八〇〇

高齢者用肺炎球菌ワクチン 定期予防接種

平成三十一年度の接種対象者への補助は、平成三十一年三月三十一日までです。接種をご希望の方は、この機会を逃すことがないよう、期日までに、医療機関へ受診ください。



平成三十一年度 各種がん検診・ 結核検診希望調査

早期発見のためのお願いがん検診・がんリスク検査・結核検診の受診希望調査を行います。

平成三十一年四月からの一年間に村が実施する検診への調査で、調査票の配布・回収は各地区の保健補導員、または郵送で行います。胸部レントゲンによる肺がん検診は、結核検診を兼ねています。

新たに結核が判明した人

の七割近くは、六十五歳以上の方です。本人の健康のため、大切な家族や地域への感染のまん延を防ぐためにも、積極的に受診をお願いします。

なお、受診の案内は検診予定日の約一か月前に送付します。

◇希望調査票提出締切

平成三十一年二月十日(火)

◇提出先

地区保健補導員
または役場 住民課



平成三十一年度から 後期高齢者健診の申込み 方法が変わります

平成三十一年度の後期高齢者健診の希望調査は、平成三十一年一月に配布した「各種がん検診希望調査」と同時に実施しています。

受診希望の方は、調査票へのご回答をお願いします。

年に一度は健診を! 「麻績村国保特定健診」

四十歳以上の皆さん、特定健診の受診はお済みでしょうか?

麻績村国民健康保険に加入され、まだ受診されていない方は、平成三十一年三月十五日までに筑北地域の医院でご予約することで個別健診の受診ができます。

◇受診に必要な物

①麻績村国民健康保険の「被保険者証」

または、春と秋に配布した「受診券」

②受診料一、五〇〇円

◇筑北地域内の医院

玉井医院

☎〇二六三二六七一三三二

鳥羽医院

☎〇二六三二六六一二四三五

松林医院

☎〇二六三二六六一二〇〇八

生活習慣病は、自覚症状がなく進行します。心筋梗塞、脳梗塞や慢性腎臓病等を予防するためにも年一回の健診を受診しましょう。

献血のお願い

また個別に健康診断を受診された場合は、住民課保健師までご連絡ください。

日時	平成31年3月11日(月) 9:30~11:30
場所	麻績村役場
対象	体重 50kg以上で
	男性 17歳以上 女性 18歳以上の方

麻績村では、「四〇〇リ限定献血」を実施します。多くの皆さんのご協力をお願いします。

血液は長期保存することができません。今後の安定供給のために、特に若い皆さんの献血へのご理解とご協力をよろしくお願いします。



「キミに救えるいのち、キミがつなく未来」

筑北村社会福祉協議会、長野県社会福祉協議会の主催で、団塊世代の方を中心にに向けた、講演会が開催されます。

先の人生を考え、終活に向けて家族の負担を減らすことや自分らしい人生を過ごしていくための知識を身に付けていただくことを目的とした講演会です。

皆さんのお越しをお待ちしています。

◇日時

平成三十一年三月四日(月)
午後一時三十分から
三時三十分まで

◇場所

筑北村本城農村環境改善センター 多目的ホール

◇講師

社会福祉法人南魚沼市
社会福祉協議会

本多 博樹 氏

◇お問い合わせ先

社会福祉法人筑北村社会福祉協議会

☎〇二六三一六六一二五〇六

第8回 防災コラム

～地震発生 その時どうする？～

夜間・自宅以外編

大きな地震が発生した。そんな時あなたはどんな行動をとれば良いか分かりますか？

今回は、「第6回 防災コラム～地震発生 その時どうする？～ 昼間編」に続き、夜間や自宅以外の場所で地震が発生した場合の身を守る方法を確認しましょう。

寝ているときは

布団や枕などで頭部を守りましょう。また、寝室には倒れやすい背の高い家具を置かないようにしましょう。

暗闇では割れたガラス片でケガをする恐れがあるので、厚手のスリッパなどを枕元に備えておくのも良いです。

外出先では

◆路上

ブロック塀や自動販売機の近くは危険です。手荷物などで頭部を守り、広い場所へ移動しましょう。



◆商業施設

スーパーなどではショーケースから離れ、買い物カゴなどで頭部を守りましょう。

◆エレベーター

すべての階のボタンを押し、停止した階で安全を確認して降りましょう。閉じ込められたらインターホンで連絡し、救助を待ちましょう。

◆車を運転中

ハザードランプを点灯してスピードを落とし、道路左側に停止します。やむを得ず車を置いて避難する場合は、キーをつけたまま、ドアロックもしません。車検証などの貴重品をもって避難しましょう。



◆電車の中

つり革、手すりにつかまり、姿勢を低くして身を守りましょう。すぐに行動をおこさず、乗務員の指示に従って避難しましょう。

地震はいつ、どこで起こるかわかりません。いかなる場所でも適切な行動がとれるように、日頃から確認しておきましょう。

関係機関からの お知らせ

新成人の皆さんへ

二十歳になったら国民年金

国民年金は、年をとったとき、病気や事故で障害が残ったとき、家族の働き手が亡くなったときに、働いている世代みんなで支えようという考えで作られた仕組みです。国民年金は、二十歳以上六十歳未満の方は加入することが義務付けられています。二十歳になったら、忘れずに国民年金の加入手続きをしましょう。

保険料を未納のまま放置すると、年金の給付を受け取ることができない場合があります。また、保険料には、学生納付特例制度、納付猶予制度の他、免除制度があります。国民年金のご相談・お手続きについては次へお問い合わせください。

◇お問い合わせ先
松本年金事務所

☎〇二六三一三二一五八二二
麻績村役場住民課

☎〇二六三一六七一三〇〇一

正しい操作で、
安全除雪！

毎年、雪のシーズンになると除雪機による事故が多発しています。除雪機を使用する際には、使用者の責任において、正しく、安全に作業を行ってください。

・安全装置が正しく作動しない状態では、絶対に使用しない。

・除雪機を使用する場合は、周囲に人がいないことを確認し、人を絶対に近づかせない。また、不意に人が近づいた場合には除雪機を直ちに停止できるような状態で除雪を行う。

・投雪口に詰まった雪を取り除く際には、必ずエンジン停止し、オーガやプロワの回転が停止したことを確認してから雪かき棒を使用して雪を取り除く。

・除雪機を使用する際、特

に後進時は足元や周囲の障害物に注意を払い、無理のない速さで使用する。

◇お問い合わせ先

一般社団法人日本農業機械工業会内

除雪機安全協会

☎〇三三四三三三〇四一五

行政書士無料相談会

行政書士による無料相談会を開催します。

◇相談内容

相続手続、遺言手続、贈与手続、農地の転用手続、車庫証明、廃棄物収集運搬、著作権登録申請 等

◇会場

安曇野会場

平成三十一年二月十四日(木)

午前十時から午後三時

安曇野市役所

二二一〇二二四号室

☎〇二六三一七七一〇〇〇

松本会場

平成三十一年二月十六日(土)

午前十時から午後三時

松本市勤労者福祉センター

三一一会議室

☎〇二六三一三五一六二八六

平成31年度新入生募集

長野県シニア大学で学びませんか

募集期間 平成31年2月1日(金)～3月15日(金)

◇入学資格

(1) 1学年への入学

おおむね50歳以上の県内在住者で、学習意欲があり、積極的に活動を目指す方。

(2) 2学年への編入

過去に長野県シニア(老人)大学1学年を修了された方。

◇募集人員

松本学部 定員 240名

◇学習時間

おおむね午前10時から午後3時まで(1日4時間学習します)

(1) 受講年限 2年

(2) 年間の標準学習日数 16日間

◇学習内容

生きがいづくりと健康づくり、地域活動を積極的に行うための幅広い分野の学習

教養講座……………知識や教養を身に着けるための講座

実技講座……………趣味や健康づくりを進めるための講座

実践講座……………社会参加活動を実践する講座

◇受付期間

平成31年2月1日(金)～3月15日(金)

入学願書は市役所・支所・村役場(高齢者福祉担当窓口)、松本保健福祉事務所福祉課(松本合庁2階)で配布・受付しています。

◇会場

長野県松本合同庁舎及び松本市松南地区公民館(なんなん広場)

◇お問い合わせ先

長野県シニア大学松本学部 ☎0263-40-1911

穂高広域施設新ごみ処理施設の建設について

穂高広域施設組合(安曇野市、池田町、松川村、生坂村、筑北村、麻績村で構成)は、現在使用しているごみ焼却施設の老朽化に伴い、新たな処理施設を現施設の隣接地に建設します。3月からの建築工事着工に先立ち、昨年11月より準備工事を開始しています。

新ごみ処理施設の概要

- ◇建設地 安曇野市穂高北穂高1000番
- ◇建設工事業業者 JFEエンジ・武井組特定建設工事共同企業体
- ◇運營業務事業者 エコサービスあづみ野株式会社
- ◇契約金額 建設工事 100億4,400万円(2018年4月～2021年2月)
運營業務 179億1,640万円(2021年3月～2041年3月)

※建設工事費について、麻績村の負担金は約2億7千万円の予定で、財源は国からの補てんがある有利な借入金その他、基金を見込んでいます。

- ◇お問い合わせ先 穂高広域施設組合 ☎0263-82-2147



平成31年度に採用する特別養護老人ホームの嘱託員を募集

◇募集する職種および受験資格

いずれも普通自動車免許があり、各職種に必要な資格を有する人

- ・介護職員 採用人員20名程度で、次のいずれかの資格を有する人
 - ①介護福祉士資格または受験資格
 - ②社会福祉士資格または受験資格
 - ③ヘルパー2級以上の資格および老人福祉施設での介護経験が6カ月以上
- ・機能訓練指導員 採用人員若干名で、次のいずれかの資格を有する人
看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、柔道整復師、あん摩マッサージ指圧師

※各資格は、平成31年3月末までに取得見込みのものを含みます。

※学生は、平成31年3月末までに卒業見込みの人に限ります。

- ◇勤務場所 東筑摩郡(麻績村・山形村)、塩尻市、松本市、木曾郡にあるいずれかの組合施設
- ◇採用試験 3月まで随時実施
- ◇申し込み方法 組合各施設および事務局(特別養護老人ホーム桔梗荘内)および組合ホームページ(URL <http://aoihato.com/>)にある申込書に記入の上、平成31年2月末日までに組合事務局又は組合施設に提出してください。
- ◇お問い合わせ先 松塩筑木曾老人福祉施設組合事務局 ☎0263-53-5000

自衛官募集案内

防衛省では、下記の前定で特別職国家公務員「自衛官等」の受付及び試験を実施します。

【平成30年度】

募集項目	応募資格	受付期間	試験期日
自衛官候補生	18歳以上33歳未満の者 ※女子については要員(陸海空の別)により 次年度以降の入隊になる場合があります。	第7回 ~2月20日	第7回 3月2日
		第8回 ~2月27日	第8回 3月9日

【平成31年度】

毎年3月頃より幹部候補生など各職種別で募集が始まります。詳細につきましては自衛隊長野地方協力本部松本地域事務所にお問合わせいただくか、自衛官募集ホームページでご確認ください。

- ◇お問い合わせ先 自衛隊長野地方協力本部松本地域事務所 ☎0263-36-2787

議会だより

No.131

- ☆新年のごあいさつ……………13
- ☆12月定例議会……………14
- ☆委員会審議結果……………14
- ☆一般質問……………15
- ☆議員活動報告……………19

発行 麻績村議会
 編集 議会編集委員会
 〒399-7701
 長野県東筑摩郡麻績村麻3837番地
 電話0263-67-3001
 FAX0263-67-3094

新年の ごあいさつ



新年明けましておめでとうございます。

村民皆様方には輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。常日頃から、麻績村議会に對しましてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、9月6日未明北海道胆振東部地震、夏から秋にかけて猛暑や豪雨、台風の影響が相次ぎ異常気象等による大

きな自然災害が日本列島を襲った一年でありました。

麻績村には大きな被害もなく過ごせたことは幸いであつたと思つています。犠牲になられた皆様方に心よりご冥福をお祈り申し上げますと共に被災地の日も早い復興を合わせてお祈り申し上げます。

全国的に人口減少が進み地方では麻績村も含め少子高齢化が加速しております。国でも

子育て支援策等様々な議論がなされておりますが決定的な打開策が無いのが現状と思われ

ます。麻績村では若者定住策として本町地区に平成29年度26棟の若者定住促進住宅が完成し平成30年度新たに4棟が完成します。現在入居

されている方を含めて本町、天王地区で合計43世帯・130人前後の方がお住まいになります。定住促進住宅として一定の効果が表れておりますが若者の定住から永住、この事が重要な課題であります。

さらに住宅建設については日向小東地区に9区画の建設計画があります。昨年12月定例議会において調査費が予算化されました。

第17期議会も二年目に入り議員各位それぞれ

の立場に於いて村民皆様に御理解頂けるように一般質問等におい

て努力しております。

昨年9月7日に山形県大蔵村議会、11月7日には福島県磐梯町議会の2議会が麻績村議会を視察研修に見えられました。

遠方より小さな麻績村議会を選んでお越し頂きました事に感謝いたします。

安全・安心な村づくりのため、行政・議会・村民が一体となって課題解決に向けた取り組みを考えて参ります。

現在の麻績村は労働力人口の減少、少子高齢化、この事が農業等も含め全ての問題に繋がっていると思われ

ます。今後は麻績村の将来を担っていく若者の支援策を行政と共に取り組んで参りたいと思つています。多様化する住民ニーズに

高い開かれた議会づくりを目指してまいります。

結びに村民皆さまの御健勝と御多幸を御祈念申し上げますと共に



議長 小山 福績

わらぬご支援を頂きますようお願い申し上げますが新年のごあいさつと致します。

- | | |
|-----|-------|
| 副議長 | 飯森 茂孝 |
| 議員 | 塚原 利彦 |
| 〃 | 塚村 賢治 |
| 〃 | 宮川 秀俊 |
| 〃 | 塚原 義昭 |
| 〃 | 小瀬 佳彦 |
| 〃 | 茂木 泰男 |



村長答弁に聞き入る6年生(1月22日子ども議会)

12月定例議会

12月定例会は、12月4日から7日までの4日間の会期で開催された。

第1日目は、諸般の報告1件、請願・陳情等の委員会付託（2件）、承認案件1件、条例改正他議案4件、人事案件1件、補正予算議案6件の上程を行った。

本会議終了後、議会全員協議会を行い、全議案の詳細説明を受けた後、陳情2件を社会文教委員会で審議した。

第2日目は、7名の議員が登壇し質問を行い、村政の執行の状況や将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求めた。一般質問終了後、各委員会に付託した、請願、陳情2件についての審議結果を小瀬佳彦社会文教委員長が行った。

第3日目は、第1日目に上程した議案12件のうち、承認案件1件を除く11議案を原案のとおりに可決した。

また、第2日目に議決した陳情2件に対する意見書の提出についての議員からの発議は全会一致で議決した。

諸般の報告

○議員派遣結果報告

条例の改正

○議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関

する条例の一部を改正
 ○特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部改正
 ○一般職の職員の給与に関する条例の一部

改正

○字の区域の変更について

その他の案件

○人権擁護委員の推薦について

予算の補正

○一般会計補正予算

(第4号)

○国民健康保険特別会計補正予算

(第3号)

○下水道事業特別会計補正予算

(第3号)

○水道事業特別会計補正予算

(第3号)

○後期高齢者医療特別会計補正予算

(第2号)

○観光事業特別会計補正予算

(第2号)

○議会議員の派遣

○議員派遣結果報告

委員会審議結果

○安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替

制労働の改善を求める

陳情

【審査結果】

採択・意見書提出
 医療や介護の現場で人手不足は深刻であり、過酷な夜勤や長時間労働など、労働環境の改善は喫緊の課題です。

ストレスや慢性疲労から健康への不安を抱き、また仕事への意欲を失う等、現在の医師や看護師、介護職員の働き方における問題がさらなる人手不足を生む原因となることも懸念されるところです。

2007年には「夜間は患者10人に1人以上、昼間は患者4人に1人以上など看護職員配置基準の抜本改善、夜勤の月8日以内の規制」などを求める請願が国会で採択されており、厚生労働省も医療・介護の勤務環境改善の必要性を明らかにしています。

国民が安心して医療・介護を利用できるためにも、国の責任において

て医師・看護師・介護職員的大幅増員と夜勤交替制労働の改善を講じるべきと考えます。よってこの陳情の趣旨は妥当であり、本委員会は飯森茂孝議員の発議による意見書提出としました。

○「後期高齢者の医療費窓口負担の見直し」にあたり原則1割負担の継続を求める意見書採択についての陳情

【審査結果】

採択・意見書提出
 財務省は2018年4月25日、財政制度等審議会において「支一手減少下での医療費増加に対して、制度の持続可能性を担保するため」として75歳以上の後期高齢者の窓口負担を1割から2割負担に引き上げるよう提案しました。

さらに6月15日に閣議決定された「経済財政運営と改革の方針2018」（骨太方針2018）でも同様の議論が示されました。

一方、厚生労働省の社会保障審議会医療保険部会では、年金収入が減る高齢者にとって、医療費窓口負担の原則2割化が受診抑制を広げるものと懸念されました。

受診を抑制することで重病化した高齢者が増えるのでは本末転倒です。

超高齢化社会を迎えるに当たり、健康寿命延伸のための政策を充実し、安心して暮らせる環境の一環として、後期高齢者の医療費窓口負担は原則1割負担を継続すべきと考えます。

よってこの陳情の趣旨は妥当であり本委員会は塚原利彦議員の発議による意見書提出としました。

提出された意見書は第3日目に上程され、全会一致で可決し地方自治法第99条の規定により、内閣総理大臣、厚生労働大臣等に同日付で送付した。

一般質問

質問事項

塚原 義昭

- 健康増進と介護予防について
- 住宅耐震化促進について
- 庁舎等のLED化について

小瀬 佳彦

- 麻績村の教育行政について
- 文化財としての善光寺街道の管理と活用について

茂木 泰男

- 麻績村内の福祉施設の環境について

飯森 茂孝

- 教育委員会委員人事と今後について
- 支え合い活動と地域の安全・安心対策について

塚原 利彦

- 教育方針の研究・検討部会と教育委員の専決再任について
- 聖高原の別荘事業について
- 消費税増税と行財政について

峯村 賢治

- たい肥化施設の維持管理について
- 史跡、遺跡の維持管理について

宮川 秀俊

- 教育委員人事再任の件について
- 風疹について
- 資源ごみの回収について
- 森林整備について

各種健康事業の参加者奨励施策による村民の更なる健康増進を

検診受診者へのポイント付与(商工会との協議)による受診向上を図る施策の検討を進めている

【答】 予防事業に努めているが数字に結びついている状況ではない。事業の特効薬的なのがない中であるが継続的に実施し、他自治体の事業も参考にして取り組みたい。保険事業では介護費も伸びている。介護を受ける施設が整い高度なサービスも受けられる環境にあり、利用者

【問】 健康増進に向けて介護予防事業等実施しているが、今年度改定の介護保険料の伸びは前回より13・7%と県下の3・7%に比較し3倍以上となっている。予防事業の成果として介護費の抑制も重要であり介護予防事業等が更に効果上がる事業展開の再考を望みたいが見解を。



塚原 義昭 議員



【問】 健康寿命を村の特徴として前面に出せればと考える。それには健康増進に対する村民意識の向上が大切である。次年度施策として各種健康事業の参加者、受診者への奨励事業等、例えばポイント付与等で地区内消費に結びつくような施策を考え、各種健診等の参加を増やし村民の更なる健康と、事業進展を望みたいが見解を。

【答】 施策として、ポイント制を検討している。健診を受診したときにポイントを付与して商工業への寄与も含めて受診向上に向け協議している。

村民の多様な意見を反映する教育委員会の在り方からすれば、 今回的人選は専門性に固執し過ぎたのではないか

学校教育に精通した方で仕切り直して選考したが、
結果的に専決という形で再任となった



小瀬 佳彦 議員

問 教育委員の人事案件が不同意となった原因はどこにあると考えるか。

答 新聞報道から「学校統合への不満」「任期が長すぎる」「これら3点が原因かと思う。しかし、私(村長)の思いとはかい離している。学校統合は教育委員会ではなく長の権限であり、現在の教育行政がうまくいっていないとも思っていない。3期目の任期も決して長くない。**問** 議会が不同意としたことは非常に重い。学校統合検討の発発は教育委員会であり、その責任は大きく、村民の失望と不信感は小さくない。村民の多様な意見を反映する教育委員会の在り方からすれば、今回的人選は専門性に固執し過ぎたのではないか。

答 教育委員4名の構成は学校教育に精通の方、社会教育に精通の方、PTA世代、幅広い分野で見識を有する方、こういった中で選任している。教育委員会は合議制の執行機関なので一人一人大変重要な役割を担っている。今回的人事案件は学校教育に精通した方で仕切り直して選考したが、結果的に専決という形で再任となった。

問 教育委員会という組織は自由闊達な意見が交わされる場であって欲しい。今回的人選では非常に懸念をする。これからの教育行政は村民と一緒にやっていかなければならない。単に専門性を優先すればいいという話ではない。専門性から言えば、専決が学校経営の責任者であり、教育行政に関し識見を有する者という規定は教育長にこそある。**答** 行政実務に長けた教育長と学校教育に長けた職務代理の教育委員、この2人の構成は県下で一般的。

村内2ヶ所の福祉施設作業環境の見直しと整備計画について

旧山ぼうしの新規建てかえと、利用者の意見、
財源を含め詳細な計画に入りたい



茂木 泰男 議員

問 村内2ヶ所の福祉施設の作業環境と、新規建て替えの考えは。

答 企業センターと山ぼうしは老朽化が進み、改修、改築が必要な状況にある。整備計画は準備に入り、建てかえる方向で検討している。財源も含め利用者の希望を把握しながら詳細な計画に入っていく。財源確保も含め利用者との協議しながら進めたい。**問** 庁舎内にカフェ専用の売り場や憩いの場所等、環境整備はどうか。**答** 庁舎の施設利用については内部で打ち合わせをしないと何とも言えない。職員には今後も山ぼうしのコーヒー利用を促進していく。**問** 交流センター内のコーヒー販売は何故だめなのか伺う。

答 教育委員会、公民館の関係もあるが、実際複数業者さんからも理解をいただき、館内での販売をお断りしている。協力をお願いしたいと考えている。**問** 障害者の就労環境整備は他村に比べ遅れている。歴代の議員も懸念しているが障害者に優しい村づくりは出来ぬか。

答 大変重要なことではあるが、山ぼうしの運営も大変な状況であり、ご利用者の意見もあっておらず、どのように計画をすすめたらいいか見きわめが難しい状況である。**問** グループホームの建設計画は。**答** 将来的には必要な施設だと認識している。施設の運営は法人が行うが安定的に運営するには利用者、スタッフの確保が出来なければ非常に難しい。障害のある方やその家族の意向を踏まえ、今後整備や誘致を検討していきたい。

教育委員人事と学校統合の今後について

人事の選考については総合的に判断した。 学校統合協議の再開が来ることを願っている

飯森 茂孝 議員



問 議会否決の人事案件を無視して専決処分をして良いとの判断の具体的な理由は何か。

答 教育委員人事の選考については、長に権限がある。合わせて責任もある。当然議会の決定、これも重く受け止めていることは言うまでもないが、教育行政に対して不信を抱かれない様、総合的に判断をさせていただいたということと理解をお願いしたい。

問 議員は行政を監視する役目、いわゆるチェック機関でもある。村長と議会の二元代表制のあり方にどのような考えか。

答 例えば議会は長が提出する予算提案権限、こういったものを侵すことはできないということになっていく。実質、長の予算案に対して追認機能化しているのではないかと考えられる。人事に関する権限など包括的業務処理権限いわゆるこういった執行権と権利があるわけで、長と議会の権限は同じかということが言われるが、見方によっては違うということも出てくる。最終的には住民の福祉の向上のために、ともに汗を流すということが必要ではないかということと理解してほしい。

問 将来を見据えた一日も早い学校統合協議の再開を。

答 思いは一緒であるが、筑北村が組合から離脱をして独自の方針で今進んでいる実態の中で、それはやめてくださいとは、実は言えないタイミングである。学校統合協議の再開が早く来ることを願っている。

たい肥化施設の維持管理について

当面は、現状を維持していく

峯村 賢治 議員



問 現状20㎡ほどたったたい肥の行き先は。本来のたい肥という面で考えると、PHが9・0、ECが3・2平均という検査報告の内容から見ても、たい肥としては芳しくないと思う。約20㎡もたまったものを消化できるのか。

答 現段階においては、小・中学校、また観光施設における花壇の肥料として使用したい。

問 安心・安全は担保されているのか。

答 専門的な知識のある業者に委託をしており、順調に推移している。

施設の老朽化による大改修とゴミの減量化を目的としたシステムに変更をした。菌によって分解して量を減らしたい肥化するの大

きな危険性はない。そういった面で安全は担保されている。

問 安心・安全なものという認識の中で、菌の手配の方法を検討するだけで、年間の維持費が1/6以下に削減できるのでは。

答 菌については、その安全性は専門家であれば解らない。異常な状況になった時の対処をどうするか、専門的な識見のある職員をそろえることもむしろ難しい。委託内容については、薬代だけではなく、他も含まれている。経費の節減は年数がたつて安定した時に考える。当面は現状を維持していく。



教育方針の研究検討委員会のうち保育園・学校部会への説明会や意見聴取の反映は、専決理由の「避けたい欠員での停滞や混乱」とは。

全体がまとまり次第、何らかの方法で。避けたい停滞と混乱とは教育委員会としての責任ある論議と事務の執行が滞ること。



塚原 利彦 議員

問 これまで進められてきた麻績村独自の教育方針の研究検討委員会のうち、特に保育園・学校部会の検討内容や方針について、保護者や村民の皆さんの理解・納得状況をどう見ているか。

答 部会開催後は、出来るだけ早く会議録の公開を行っている。また一貫教育や家庭指導に関して作成したりフレットを、保護者会等で説明し家庭配布を行っている。インターネット未利用者や広報紙を読まれていない方また地域懇談会等に出られていない方などは理解状況が不十分という事もあると思うが機会あることにお伝えしていく。

問 説明会等の開催やそこで聴取した意見要

望等の部会協議への反映の考えは。

答 全体についてはまとまり次第何らかの方法で行いたい。

問 教育委員の専決再任について、9月議会での不同意を受け、新たな方の人選を議会に相談や協議をすべきだったのではないか。また、専決の理由の一つの「欠員による避けたい教育行政の停滞と混乱」とは具体的に何か。

答 議員各位から、候補者に代わる方としてこんな方があるという話もなかった。相談をしなかったのは、この辺の理由があった。また、欠員になると困る理由としては、新たな教育方針を定める時期である。筑北中学校の麻績単独開校に近い。一貫教育の方向付け。文部省等からの指針への対応等がある。教育委員会は執行機関なので責任ある論議と事務の執行が必要。重要な時期の欠員は教育行政の停滞につながるの思いからである。

資源ごみの回収について(収集回数要望)

当面は現状のままで実施



宮川 秀俊 議員

問 穂高広域施設組合の新しいごみ処理施設整備が計画されている。村としても相応の建設費負担が予想される。搬出量の推移について伺う。

答 量については年々減少傾向にある。平成29年度の年間排出量は182tで、一人当たり換算すると、66kgになる。これに対し平成24年度年間排出量は218tで一人当たり72kgであり、この5年間を比較すると年間排出量は36tの減、一人当たりでは6kgの減となっている。

問 資源ごみの収集は第一土曜日に行われているが、各地域からの要望は。

答 現在のところ、村民から収集回数を増や

してほしいという要望はない。排出量も年々減少を続けていることから、当面は現状のまま月一回の収集で実施していきたいと考えている。

問 衛生問題に関しては第6次振興後期基本計画の中でも、ごみ処理の現状と課題、施策において収集回数の増加を望む声も大きいとあるが。

答 現時点ではそんなに多くない。

問 プラスチック、ペットボトル、古紙や段ボール等のかさばる物の置き場がない。月2回にすべきではないか。

答 単純に、月2回にするともたそれだけの費用がかかる。当面は現状のまま進めていく。今後多くの要望があれば検討したい。

問 仮に資源ごみの回収を月2回とした場合費用はどのくらいになるのか。

答 収集車の台数も同様であれば、年間約200万円増の支出となる。

私たちはこんな活動をしています

11月

- ・全国監査委員研修会
- ・東筑摩郡村議会議長会で県議会議長・県知事要望
- ・議会運営委員会
- ・松塩筑木曾老人施設組合定例会
- ・定期監査・3日間
- ・松本広域連合議会定例会
- ・北部3村議員交流会
- ・例月出納検査
- ・町村議長会全国大会及び国会議員要望活動

12月

- ・穂高広域環境施設組合視察研修会
- ・中学校組合議会
- ・地域振興局長懇談会
- ・安曇野松筑広域環境施設組合議会
- ・議会議員視察研修
(安曇野市、塩尻市)
- ・大町麻績インター千曲線
扇平開通式
- ・生活安全推進協議会
- ・議会定例会
- ・聖高原冬山開き
- ・月例出納検査



協力隊の説明を聞く磐梯町議会議員 11/7

1月

- ・元旦祝賀式
- ・麻績村消防団出初式
- ・JA松本ハイランド祝賀会
- ・議会だより編集委員会
- ・東筑摩郡村長会、議長会新年会
- ・子ども議会
- ・松本広域消防委員視察
- ・例月出納検査
- ・クリーンセンター運営委員会
- ・町村議会広報研修会



議会視察研修(塩尻市教育委員会) 11/8

議会だより

編集後記

平成最後の年が明け、5月には新天皇即位に伴い元号も新しくなります。平成とはどのような時代だったのでしょうか。戦後復興の昭和が上昇志向であったのに対し、バブルがはじけた平成は「昭和の清算をした時代」と言われます。

そんな折、ちまたでは議員のなり手不足が取りざたされています。麻績村も決して例外ではありません。目先のことにのみ捕らわれず、健全な議会を次代につなげることも我々の使命と考えます。

編集委員

- ◎塚原義昭
- 小瀬佳彦
- 茂木泰男
- 小山福績

村の出来事



▲聖湖へのへらぶな放流



▲ちびっこ消防団啓発活動



▲麻績保育園焼き芋会



▲ひだまり広場クリスマス会



▲こども議会